

◆今期間のポイント

<主要じょう乱の概要>

- 台風第4号については最新の台風予報を参照。
- 21日は、低気圧が発達しながらサハリン付近に進み、前線が日本付近を通過する。
- 22日は、高気圧が日本付近を東へ移動する。大陸から前線が東シナ海にのびる。
- 23日から24日にかけて、低気圧がサハリン付近から千島近海に進む。前線を伴った低気圧が本州南岸付近を東へ進む。
- 25日は、高気圧が日本海に移動し、前線が日本の南にのびる。

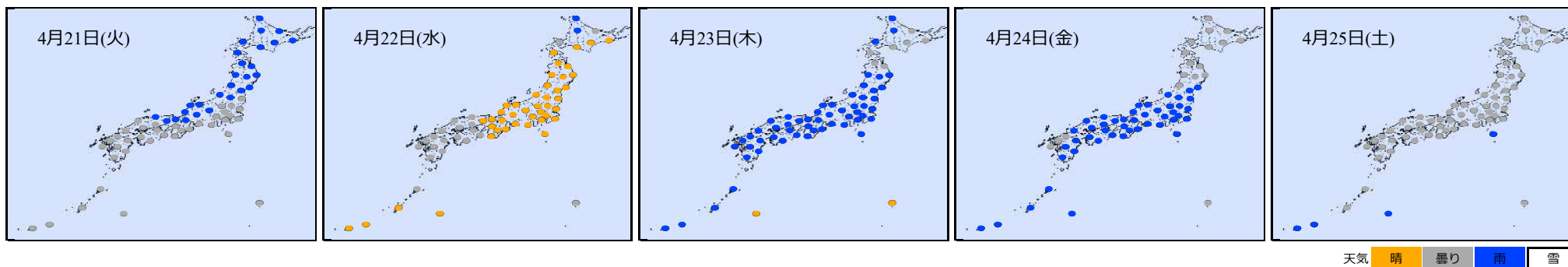
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 21日は、発達する低気圧の影響で、北日本を中心に荒れた天気となる所がある見込み。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

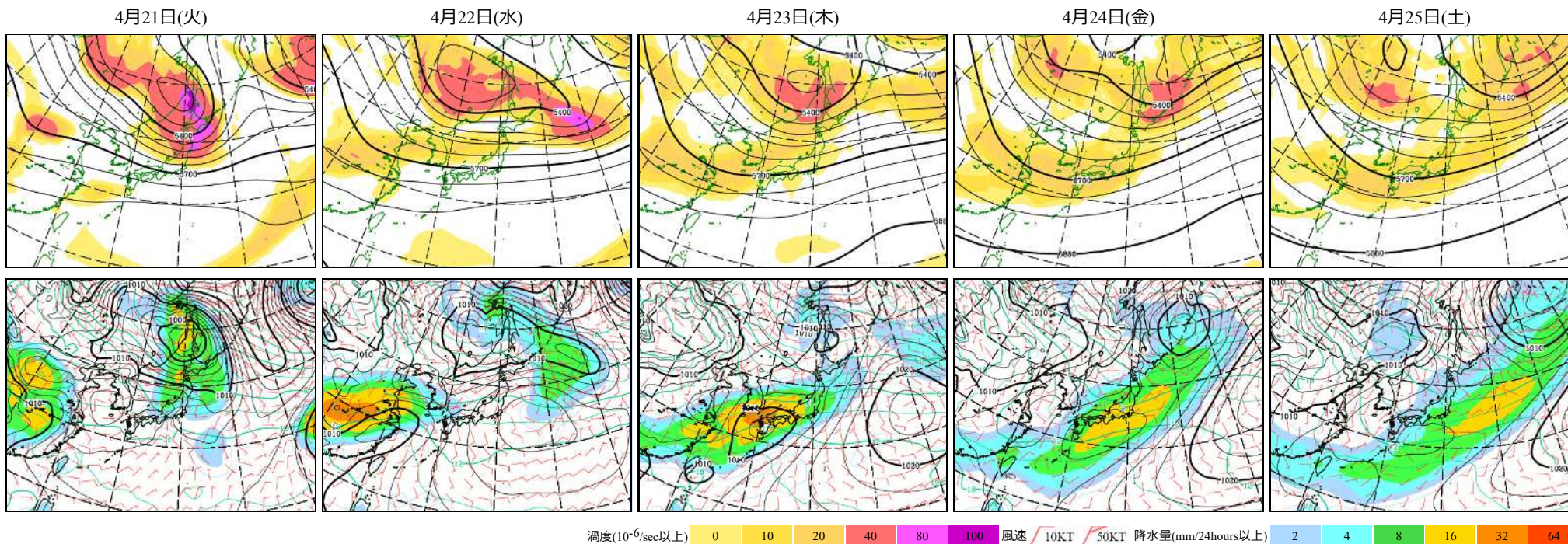
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

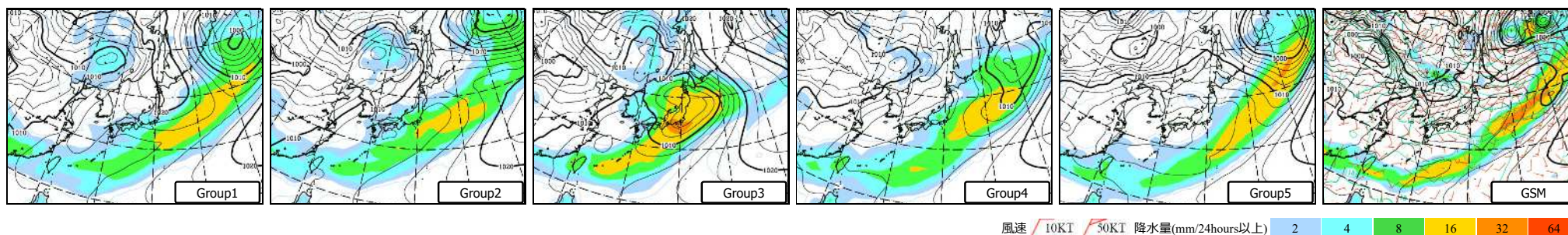


- 北日本と東日本は、曇りや雨の降る日が多いが、22日は晴れる所が多い。
- 西日本は、曇りや雨の降る日が多い。
- 沖縄・奄美は、21日と22日は曇りまたは晴れとなる。23日から25日は曇りや雨の所が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆4月25日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料 (ENS) は、22日から23日にかけて、寒冷渦がアムール川中流付近に残る予想になり、24日にトラフが北日本を進む予想になった。地上の気圧配置は、22日から24日にかけてアムール川中流付近からオホーツク海に進む低気圧の動きが遅くなった。23日から24日に本州南岸を進む低気圧が明瞭になった。
- 22日から23日にかけて、アムール川中流付近を進む寒冷渦の予想は、各モデルともに初期値変わりがあり、モデル間の差も大きくなっている。23日から24日にかけて日本付近に進むトラフの予想にもモデル間の差がある。
- ENS平均図では、25日は本州南岸に低気圧を予想している。ENSには、NCEPの様に関東の東に低気圧を予想するメンバーの他、伊豆諸島付近や四国沖に低気圧が予想するメンバーも含んでいる。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。